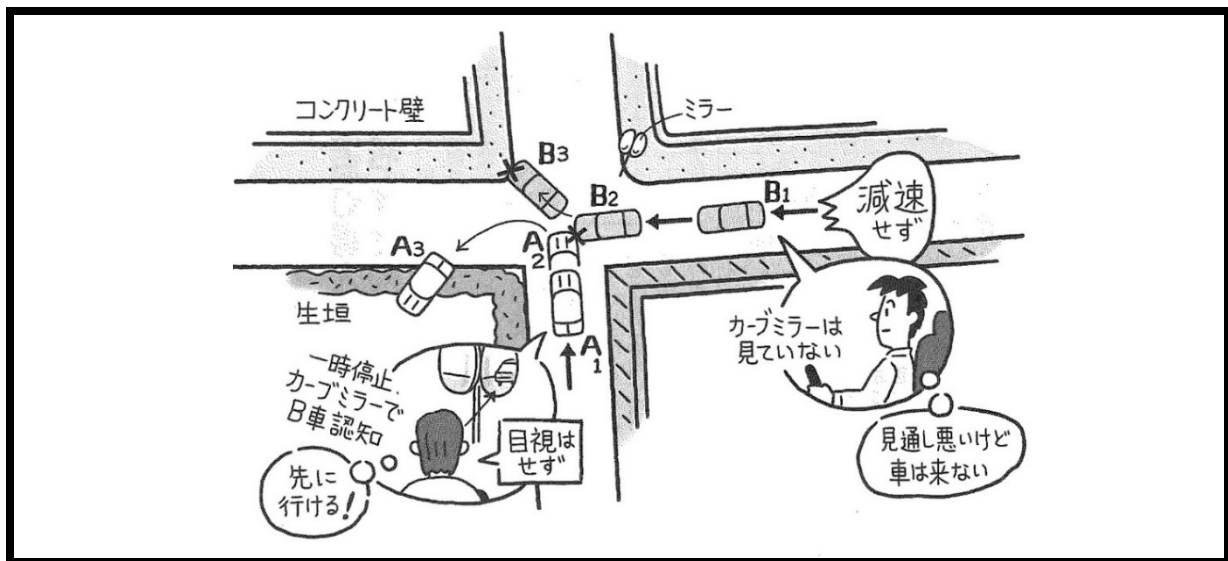


■事故の概況



事故類型：出会い頭

当事者A：普通乗用車 20歳代 男性

当事者B：普通乗用車 20歳代 男性

■ 事故の概要

Aは、1週間くらい前から配達の仕事でこの道路を走行していましたが、この日は配達時間が遅れ少し急いでいました。

Aは見通しの悪い十字路交差点に差しかかり一旦停止し、カーブミラーで右からくるB車を発見しましたが、先に行けると判断しアクセルを強めに踏み込んだ直後、B車の接近に気づき急ブレーキを踏み左へハンドルを切りましたが、間に合わず出会い頭に衝突しました。

一方、Bはいつもこの道路を走行していました。時速約30から40kmで走行中、十字路交差点を等速で通過しようとしたところ、直前で左から交差点へ進入してきたA車を発見し、急ブレーキを踏み、右へハンドルを切りましたが、間に合わずに衝突しました。

■ 事故から学ぶ

今回、両当事者ともに速度が低く、回避行動も早かったことから大きな事故には至りませんでした。しかし、出会い頭事故は相手に気づくのが遅れ、回避行動が間に合わずに大きな事故に繋がりがやすい事故形態です。

運転者に限らず、歩行者や自転車も同じことですが、自動車は速度が速いため、迅速な安全確認と判断が必要です。安全確認を補う役目としては、カーブミラーや、一時停止標識・標示で注意を促すための交通安全施設が必要な箇所に設けられています。これらの施設を有効に活用して、日ごろの運転に役立ててください。

また、カーブミラーは凸面鏡のため、交差道路から来る車両や人の存在を知るには便利です。しかし、相手との距離を正確に把握するには適さないのが、最終的には自分の目で安全を確認してから行動に移すことが大切です。